



発行 社団法人 日本品質管理学会
 東京都杉並区高円寺南1-2-1 (財)日本科学技術連盟東高円寺ビル内
 電話.03 (5378) 1506 FAX.03 (5378) 1507
 ホームページ:www.jsqc.org/

CONTENTS

- 1-トピックス 「新版 品質保証ガイドブック」発刊によせて
- 2-私の提言 品質管理の考え方を環境管理の世界に
- 2-ルポルターージュ 第344回中部事業所見学会ルポ
- 3-行事案内
- 4-5月の入会者紹介/論文募集/2009ANQ参加のお誘い

「新版 品質保証ガイドブック」発刊によせて

新版品質保証ガイドブック編集特別委員会・委員長 中條 武志

100名を超える産学の方々の、2年余りにわたる協力を得て、本年10月末の発刊に向けて最終の校正作業が行われています。

新版 品質保証ガイドブック

朝香鐵一・石川馨両博士によって「品質保証ガイドブック」が出版されたのは1974年です。この書籍は、品質保証の考え方・方法論を学ぶ上で貴重な役割を果たしてきました。

日本品質管理学会では、学会創立40周年記念（2010年）および品質月間50周年記念（2009年）を契機として、「品質保証ガイドブック」に盛り込まれている品質保証の基本的な考え方・方法論を今の時代にあった事例を用いて体系的に説明した書籍「新版 品質保証ガイドブック」（B5判、約1300頁、定価42,000円、日科技連出版社）の編集に取り組んできました。

ガイドブックの内容

全体の構成は旧版の「品質保証ガイドブック」を踏襲し、

- I. 品質保証の基本
- II. プロセス別の品質保証
- III. 品質保証のための要素技術
- IV. 主要産業における品質保証

の4部構成としています。

第I部では、品質保証を「顧客・社会のニーズを満たすことを確実にし、

確認し、実証するために、組織が行う体系的活動」と捉えた上で、品質保証の現状・歴史を概観し、品質および品質保証に関する基本的な原則、品質保証を組織的に推進するための方法論を解説しています。また、品質保証のための活動を、原価、量・納期、環境、安全、従業員満足などを目的とする活動と統合する考え方を示しています。

第II部では、市場調査・企画、製品設計、生産準備・工程設計、生産、調達、販売、アフターサービス、回収・廃棄・再利用などのプロセスを一つひとつ取り上げ、それぞれにおいて行うべき品質保証活動について一般的に解説しています。サービス設計、サービス提供については別に取り上げています。さらに、これらのプロセスを全体的に捉えて、品質保証システムを構築・改善する考え方も示しています。

第III部では、品質機能展開、顧客関係性管理、統計的手法、ロバスト設計、デザインレビュー、ソフトウェア設計・検証手法、工程能力調査、オンライン品質情報の活用、信頼性設計・信頼性試験、故障解析、標準化、人・教育、作業管理、設備管理、品質監査、プロジェクトマネジメントなど、品質保証において汎用的に使われる一つひとつの要素技術を取り上げ、その内容について解説しています。

第IV部では主要な産業分野における品質保証の実践例を紹介しています。業種は、電気や機械などの組立産業、情報システム・ソフトウェア、土木・建築、航空・宇宙や原子力などの重工業、鉄鋼や化学・ゴムや繊維などの装置産業、食品・化粧品・医療材料、トラック・鉄道・航空などによる運輸業、電力事業、小売業、サービス業、医療・福祉、教育、行政など多岐にわたっています。また、視点を変えて、中堅企業、海外関係会社の取組みも紹介しています。

編集を終えて

編集で一番苦労したのは、品質保証に関するプロセスの広がり、要素技術の広がり、産業分野の広がりをいかに統一的に扱うかでした。これについては、部や章の間のすり合わせを密接に行うことで、満点とはいかないまでもかなり整理できたと思います。

編集を通じて、それぞれの業界で品質保証に携わっていらっしゃる産の方々の熱意、それぞれの要素技術の研究にける学の方々のこだわりを肌で感じることができました。本ガイドブックが、品質保証の全貌を理解し、新しい時代、それぞれの分野にあった新しい品質保証の方法論を生み出す基盤となることを心から期待しています。

● 私 の 提 言 ●

品質管理の考え方を環境管理の世界に

高知FEL株式会社 澤田 潔



昨年の4月から東京での品質管理と環境管理の両方の業務を担当した経験を生かし、次世代省エネランプの開発・製造の事業化に向けて高知で活動している。最近の企業は、品質管理と環境管理を一緒にして品質環境部とかもっと広い概念でCSR部などとしているところが多くなってきているためである。このような環境と品質を同じ部門で担当する現象は、ISO9001とISO14001の認証取得が始まった頃からかと記憶している。

ところが、現実問題として、品質管理と環境管理の世界の距離は、マネジメントシステムの構築・運用以外は、

さほど近づいていない。マネジメントシステム以外では、TQMで構築された優れたしくみや手法は、環境管理の世界には、ほとんど導入されていない。わずかに品質機能展開を環境側面にも対応させた環境調和型品質機能展開が数少ない事例かと思う。

一方、もの作りの現場では、高い目標値を与えられて二酸化炭素の排出抑制や廃棄物削減などの環境関連の項目が要求されるようになってきている。また製品に対しては、従来の製品品質面での競争だけでなく、省電力や有害物質不使用などの環境特性での競争優位も要求されるようになってきている。実際、工場の現場においての省エネや廃棄物削減の最大の効果をもたらすのは、生産性の向上や不良率の低減というTQMの

世界でおなじみの管理項目であることが多い。しかしながら、環境関連の専門家がTQMの手法や考え方になじみがないことが多く、品質管理の専門家なら現場改善の指導ができるようなことも手が付けられていないことも多い。

地球温暖化防止をはじめとする環境対策が、社会を牽引する大きな力となり、省エネなどの環境対策がこれからの企業活動にとって大きな因子となる時代が続くと思われる。このため、環境管理全般を新たな考え方、手法で武装していくことが重要となっていく。TQMの世界での資産である、さまざまな方法や考え方を環境の世界にも応用できる形にしていくことが今後期待される。最終的には、TQMならぬTEMとでもいう大きな概念にまとめられたら、品質で世界をリードできたもの作り日本を環境対応の分野においても世界をリードできるようになると小生は考えている。

第344回中部
事業所見学会
ルポ安城五十鈴(株)
「誰でもできる職場作り」

さる平成21年6月17日(水)に第344回事業所見学会(中部支部第86回)が、安城五十鈴(株)(愛知県安城市)にて開催された。『誰でもできる職場作り』のテーマの下、18名が参加した。

同社は、鋼板流通サービスを展開する五十鈴グループの中核を担う会社で、昭和63年創業以来、大手自動車、電機メーカーなどへ鋼板の提供を行っている。

見学に先立ち、会社概要紹介の中で「ATOM構想」と名付けられた「最適鋼板流通システム」にてお客様の要望に最大限にこたえるための活動に取り組まれている説明があった。これら独自の理念や方針がグループ全体に浸透し着実な成果、業績を上げられていることに感銘を受けた。

見学会のテーマについて3つの活動の説明があった。「安全を確保する自動化と教育」では経験の浅い社員に

対する基礎教育とOJT、特に「安全」については徹底したリスクアセスメントをベースとした活動、「異材防止システム」ではITを活用した工程チェック、インターロックの採用や標準化の推進による発生/流出防止の活動、「流通全体を通じた業務システム」では“S(SPEED) QCD”の考えに基づいた“安城流カンバン方式”活動などである。

見学では、広い工場を一通り巡ることができた。フープと呼ばれる指定寸法に裁断されたコイル材の製造工程では、大型スリッターやレバラーシャーでの生産の過程を見学することができた。また、出荷前製品置き場でのロケーションの工夫や安全対策など、説明のあった活動を肌で感じることができた。

充実した見学内容と丁寧な説明により、非常にわかりやすく、意義のある見学会であったと思う。また、参加者による意見交換会では、様々な意見が出され活発に意見交換ができた。素材メーカーと部品加工メーカーの間を取り持つ重要な役割が各種のものづくりを支えていることを改めて実感した。

戸 敏裕 (ブラザー工業(株))

行事案内

●第66回クオリティパブ (本部)

テーマ：業務体験談と日立の品質保証活動の背景（落穂拾いの精神）について

ゲスト：大沼邦彦氏

(JSQC会長・(株)日立オートモティブシステムズ 取締役社長)

日時：2009年8月31日(月)18:00～20:30

会場：日本科学技術連盟

東高円寺ビル5階研修室

定員：30名

参加費：会員3,000円 非会員4,000円

準会員・一般学生2,000円

(含軽食・当日払い)

詳細：ホームページをご覧ください。

申込方法：本部事務局宛E-mailまたはFAXにてお申し込みください。

●医療のための質マネジメント基礎講座 (医療の質・安全部会)

一日2回、計14回開催一

会場：第1回～第10回

早稲田大学 西早稲田キャンパス 62号館

第11回～第14回

日本科学技術連盟 東高円寺ビル 2階講堂

プログラム：

※各日とも9:30～12:30/13:30～16:30の2回

第1回・第2回 8月30日(日)

質マネジメントの基礎

医療の質マネジメントシステム(QMS)

第3回・第4回 9月12日(出)

POAM (業務プロセスに注目した与薬事故分析手法)

インシデント分析と対策立案

第5回・第6回 9月13日(日)

転倒転落事故の防止

医療安全管理システム

第7回・第8回 10月3日(出)

PFC (Process Flow Chart) を用いた医療プロセスの標準化(1)

PFC (Process Flow Chart) を用いた医療プロセスの標準化(2)

第9回・第10回 10月4日(日)

医療における文書管理

問題解決法と改善の進め方

第11回・第12回 11月7日(出)

患者状態適応型パスシステム(PCAPS)の基本(1)

患者状態適応型パスシステム(PCAPS)の基本(2)

第13回・第14回 11月8日(日)

KYT (危険予知活動)と5S活動

QMSの導入・推進方法

定員：150名

参加費：

部会員 1回 5,000円/通し 60,000円

会費：部員 1回 7,000円/通し 84,000円

非会員 1回15,000円/通し180,000円

詳細：ホームページをご覧ください。

<http://www.jsqc.org/ja/division/med/iryu.html>

申込方法：

基礎講座事務局までお申し込みください。

E-mail kisokouza@tqm.mgmt.waseda.ac.jp

FAX 03-3232-9780

●第345回事業所見学会 (関西)

テーマ：神鋼神戸発電所における環境保全活動～都市型発電所の環境保全・地域との共生～

日時：2009年9月1日(火)13:30～16:30

見学先：神鋼神戸発電所(株)

定員：30名

参加費：会 員2,500円 非会員 3,500円

準会員1,500円 一般学生2,000円

※当日払い

申込方法：関西支部事務局までE-mailまたはFAXにてお申し込みください。

●第91回研究発表会 (関西)

日時：2009年9月4日(金)

会場：大阪・中央電気倶楽部

参加費：会 員3,000円 非会員 4,000円

準会員1,500円 一般学生2,000円

※当日払い

申込方法：関西支部事務局までE-mailまたはFAXにてお申し込みください。

詳細：ホームページをご覧ください。

<http://www.jsqc.org/q/news/events-list.html>

●第129回シンポジウム (関西)

テーマ：減速経済の今こそやっておくべきこと！～品質を第一とする人材育成を考える～

日時：2009年9月8日(火)13:00～17:15

会場：大阪・中央電気倶楽部 5階ホール

参加費：会 員3,000円 非会員 4,000円

準会員1,500円 一般学生2,000円

※当日払い

プログラム：

基調講演「ものづくりにおける品質技術者の育成」

岩崎日出男氏 (近畿大学)

講演1「積水化学グループにおけるモノづくり人材の育成」

近藤 賢氏 (積水化学工業(株))

講演2「シャープにおけるQC人材育成」

片谷敏晴氏 (シャープ(株))

パネルディスカッション

申込方法：関西支部事務局までE-mailまたはFAXにてお申し込みください。

●テクノメトリックス研究会 研究報告シンポジウム

テーマ：タグチメソッドの理論と応用

日時：2009年9月19日(土)10:30～17:00

会場：成蹊大学 8号館

参加費：無料

問合せ：成蹊大学 中西寛子

申込先：nakanisi@econ.seikei.ac.jp

※返信はいたしません。

●第126回シンポジウム (本部)

テーマ：これからの品質をどう考える

日時：2009年9月24日(木)10:00～16:45

会場：日本科学技術連盟 東高円寺ビル 地下1階講堂

定員：150名

参加費：会 員5,000円 (締切後5,500円)

非会員8,000円 (締切後8,500円)

準会員2,500円・一般学生3,500円

申込締切：2008年8月29日(金)

プログラム：

開催挨拶「これからの品質」

大藤 正 (玉川大学)

基調講演「文化をとらえて品質を考える」

圓川隆夫 (東京工業大学)

講演1「広報委員会の考える品質－誰が品質のことを知るべきか－」

兼子 毅 (東京都市大学)

講演2「標準委員会の考える品質－日本の品質管理を論じるための85用語－」

中條武志 (中央大学)

パネルディスカッション

申込方法：7月送付の参加申込書にご記入の上、本部事務局までお申し込みください。ホームページからも申し込みできます。

<http://www.jsqc.org/q/news/events-list.html>

●第39回年次大会・大阪大学 (本部) 発表募集中!

日時：2009年10月30日(金)・31日(土)

(1)申込期限

発表申込締切：8月25日(火)

予稿原稿締切：10月1日(木)必着

参加申込締切：10月21日(水)

(2)研究発表・事例発表の申込方法

7月送付の発表申込要領をご覧ください。

(3)参加申込

同封の参加申込書にご記入の上、本部事務局までお申し込みください。

行事申込先

JSQCホームページ：www.jsqc.org/

本部：TEL 03-5378-1506

FAX 03-5378-1507

E-mail:apply@jsqc.org

関西支部：TEL 06-6341-4627

FAX 06-6341-4615

E-mail:kansai@jsqc.org

2009年 5月の入会者紹介

2009年5月19日の理事会において、下記の通り正会員6名、準会員3名の入会が承認されました。

(正会員6名) ○茂田 宏和 (日本科学技術連盟) ○犬伏 秀生 (日本科学技術研修所) ○村井 睦子 (日立システムアンドサービス) ○荒井

健司 (富士通四国システムズ) ○山口 正男 (宇野歯車工業) ○森 初男 (IHI)

(準会員3名) ○大宅 太郎 (電気通信大学) ○八尾坂 修平 (中央大学) ○小貫 弘之 (東京理科大学)

正 会 員 : 2668名
準 会 員 : 73名
賛 助 会 員 : 171社198口
公 共 会 員 : 22口

「品質」誌、投稿論文の募集!

会員の方々からの積極的な投稿をお勧めします。投稿区分は、報文、技術ノート、調査研究論文、応用研究論文、投稿論説、クオリティレポート、レター、QCサロンです。

論文誌編集委員会

7th ANQ Congress Tokyo 2009参加のお誘い “Prosperity through Quality - The ANQ Way”

2009年9月15日～18日、東京にて開催される7th ANQ Congress Tokyo 2009のお誘いです。キーノートスピーチは同時通訳いたします。

15日のウェルカムレセプション、17日のフェアウェルディナーでは、品質にかかわるさまざまな分野での著名な研究者、実践者をお招きして、各地域からの参加者との交流を図るべくSIG (Special Interest Group・特定の興味分野ごとのテーブル) 企画を進めています。司馬正次さん、狩野紀昭さん、赤尾洋二さん、真壁肇さんなどがコーディネーターとして予定されています。ぜひご参加ください。

テ ー マ : “Prosperity through Quality - The ANQ Way” 公式言語 : 英語 (キーノートスピーチ4件は同時通訳)
日 時 : 2009年9月15日(火)～18日(金) 参 加 費 : US\$ 200
会 場 : 早稲田大学 創造理工学部 63号館 支払方法 : [PayPal](#) にてオンライン支払い
(西早稲田キャンパス) 申 込 先 : <http://www.anq2009.org/register.html>
http://www.anq2009.org/venue_02_b.gif

プログラム概要 <http://www.anq2009.org/agenda.html>

日 時	内 容
9月15日(火) 15:00～18:00	レジストレーション
18:00～20:00	ウェルカムレセプション
9月16日(水) 8:00～ 9:00	レジストレーション
9:00～10:00	オープニングセレモニー
10:00～11:30	キーノートアドレス Janak Mehta氏 (ANQ会長) 『Quality for societal well being』 坂根 正弘 氏 (小松製作所 代表取締役会長) 『Quality-Oriented Management in Komatsu Ltd.』
12:45～17:55	テクニカルプレゼンテーション、ポスターセッション
9月17日(木) 9:00～15:30	テクニカルプレゼンテーション、ポスターセッション
16:00～18:30	クロージングセレモニー&キーノートアドレス Gregory H. Watson 氏 (IAQ会長) 『Shared Prosperity: The Value of Quality』 狩野 紀昭 氏 (ANQ名誉会長/東京理科大学名誉教授) 『The Role of TQM in Economic Crisis ～Category A Strategy vs Category J Strategy～』
19:00～21:30	フェアウェルディナー
9月18日(金)	テクニカルビジット (外国人向け)